

# 清流

## 復活へ

### 大和川の挑戦

12

#### 「日本一汚い川」からの脱却

昨年11月に県を中心に開設。ここで大和川水質  
国土交通省、県内市町村、マップHPの公開や県浄  
民間団体よって設立され 化センターの情報発信拠  
た「大和川清流復活ネッ 点としての活用などを進  
行った。 支川ごとのきめ細かな  
対策の推進では、市町村  
ことの水質の現状と汚濁

# 一層の意識向上必要

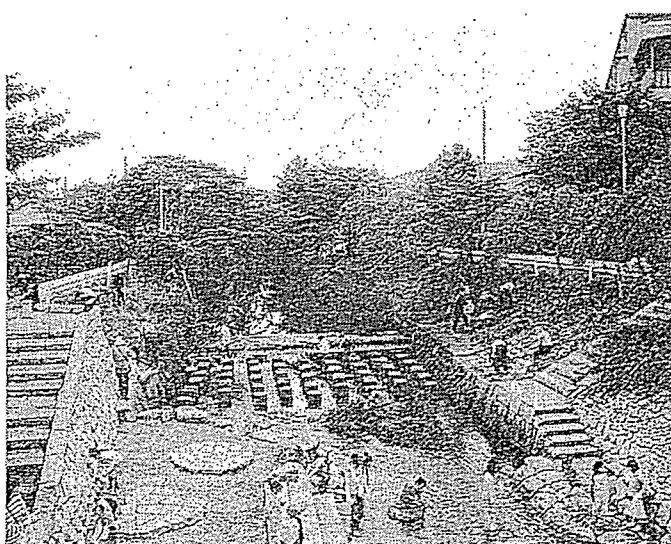
トワーク」。全国の一級  
河川で「3年でワースト  
1脱却」を目標に掲げ、  
取り組んできた。この1  
年の成果を振り返る。  
水質改善に向けた取り  
組みとして、県民への水  
質課題の「見える化」の  
ため、同ネットワークの  
ホームページ（HP）を

動が美り、平成20年度の  
水質現況では、いち早く  
ワースト1から脱却。順  
位が入れ替わった綾瀬川  
の流域住民や行政関係者  
（さいたま市など）が県  
内を訪問、水質改善に向  
けた熱心な意見交換が行  
われ、「さらなる水質改  
善に努めなければ」（県  
河川課）と気を引き締め  
る。

の分析を行い、重点対策  
支川（11河川）を選定し、  
水質改善の目標数値を設  
定した。また、菰川での  
環境用水の導水による社  
会実験や、下水道への接  
続促進などの取り組みを  
進めている。  
ネットワーク設立前が  
らの関係者らの地道な活  
域については、単独から

## 次のステップに向けて

合併浄化槽に転換を促す  
PRを「などと活発な意  
見が交わされた。  
出席者の一人は「万葉  
集に詠まれた川の美しさ  
を取り戻そう」と訴えた。  
県河川課は「今後『5年  
でワースト3脱却』を目  
指したい。市町村など  
の一層の連携と、県民意  
識の向上が大切」という。  
清流復活ができるか  
は、私たち一人一人の自  
覚と行動にかかっている  
といっているだろう。



清流復活のためには県民一人一人の力が必要（写真は佐保川清掃から）

当記事を奈良新聞社に無断転載  
することを禁じます。

21年12月28日（月）

奈良新聞

朝・夕